

**公益財団法人日本バスケットボール協会**  
**平成25年度 第2回理事会 議事録**

**日 時:** 平成25年5月15日(水) 13:00~16:20

**場 所:** JBAオフィス 8F会議室

**出 席:** <理事>

深津泰彦会長職務代行、梅野哲雄副会長、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、佐々木三男、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊、吉田長寿、吉田利治の各理事

<監事>

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

<特任委員>

内山英司、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

**欠 席:** 麻生太郎会長、丸尾充副会長、品田奥義、鈴木秀太の各理事、小倉恭志、上島正光の各特任委員

**議 題**

- (1) ユニフォーム規程および認定審判ウエア—審査基準の改定について
- (2) NBL定款・規約について
- (3) 大会要項について
- (4) ウインターカップ実行委員会およびオールジャパン実行委員会の設置について
- (5) 男女日本代表国際親善試合の開催について
- (6) 男子日本代表チームサプライヤー賞(インセンティブプラン)について
- (7) 役員候補者の選定に関する規程について
- (8) JBAオフィシャルマガジン「TIP OFF」の発行について
- (9) エンデバーと強化の協働・連携について
- (10) ウインターカップの放送権について

---

**1. 定足数の報告**

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:19名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

**2. 挨拶**

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

---

**3. 議事**

議長は深津会長職務代行が務めた。

(1) **ユニフォーム規程および認定審判ウエア審査基準の改定について**（堀井理事）

FIBAレギュレーションの改定に伴い、メーカーロゴサイズの変更(14cm<sup>2</sup>→20cm<sup>2</sup>)を含むユニフォーム規程および認定審判ウエアの改定案が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(2) **NBL定款・規約について**（堀井理事）

一般社団法人日本バスケットボールリーグの設立(7月1日予定)に向けて、定款(案)および規約(案)が資料に基づき、提案された。NBL参加全チームの最高執行責任者による会議でも承認されており大筋問題ないことが認められるものの、NBLの根幹となるものであり、内容も細部に亘ることから意見、質問等があればオフィスまで事前に連絡し、次回理事会で決議を行うこととなった。

<継続審議>

(3) **大会要項について**（庄司理事）

「第66回全国高等学校選手権大会(インターハイ)」、「第23回全国高等学校定時制通信制大会」および「第48回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

尚、大会参加資格のうち、当協会へのチーム加盟、競技者登録に関する文言(表記)については今後統一する方向で調整していること、また、4月の理事会で決定した東日本大震災復興支援の大会冠については、一部の総合競技大会を除き、実施していくことが補足された。

<承認>

(4) **ウインターカップ実行委員会およびオールジャパン実行委員会の設置について**（庄司理事）

今年度のウインターカップおよび天皇杯・皇后杯(オールジャパン)の開催に向け、それぞれの大会実行委員会を設置することおよびそのメンバーが提案され、原案通り承認された。尚、委員の追加については各実行委員長に一任すること、また、7月の理事会にそれぞれの大会要項および実行予算の提案をすることとした。また、大会運営にあたっては、開催地となる東京都協会とも連携し、協力体制を構築できるよう今後東京都協会と協議を進めることとした。

<承認>

(5) **男女日本代表国際親善試合の開催について**（吉田(長)理事）

今年度の国際親善試合について、6月28日、29日にゼビオアリーナ(宮城県仙台市)、30日に代々木第2体育館(東京都渋谷区)において男女同一日程で開催することが提案され、承認された。尚、調整中となっている対戦チームを早急に決定し、チケット販売については、開催地協会の協力を得ながら販売を強化していくこととした。

また、今回は都道府県協会からの開催希望がなかったことから3日間とも直轄運営で行うこととなったが、全国への普及、都道府県協会の役割等戦略的に考えながら、今後の開催については改めて検討を行うこととした。

<承認>

(6) 男子日本代表チームサプライヤー賞(インセンティブプラン)について (吉田(長)理事)

男子日本代表選手としての相応しい待遇、モチベーションアップ、プライドの醸成を図るため、男子日本代表オフィシャルサプライヤーである株式会社ドームの協力を得て、代表選手選出、チーム目標達成、個人賞の獲得に対してインセンティブを取り入れることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) 役員候補者の選定に関する規程について (堀井理事)

評議員会との間で見直しするか否かを含め再度検討することになっている役員候補者の選定に関する規程について、評議員との協議にあたっての理事会としての意見が確認され、現状通りの規程を前提とし、協議を進めることが承認された。

また、前回の評議員会で出されたFIBA ASIAカップに関する調査等については、4月20日に評議員代表者による会議が開かれたが結論に至らずに次回5月18日に再度会議を行う予定であること、また、同時にそこで役員候補者の選定に関する規程についての協議を行う予定であることが補足された。

<承認>

(8) JBAオフィシャルマガジン「TIP OFF」の発行について (堀井理事)

昨年度より登録者向けのサービス向上等を目的として発行したJBAオフィシャルマガジン「TIP OFF」の第3号の発行が提案され、原案通り承認された。

(実際は今年4月の発行に向けて1月頃より進めていたものであったが、4月の理事会での稟議・起案決裁規程に則り、理事会に付議された。)

<承認>

(9) エンデバーと強化の協働・連携について (佐々木理事)

3月6日の理事会にて審議したエンデバーと強化の協働・連携について、結論がやや明確になっていなかったことを踏まえ、再度協議を行った。現状も強化とのつながりを持ってエンデバー活動を推進しており、エンデバー(普及・育成)と強化の連携については総論として賛成ではあるものの、提案内容と一部反対意見との違いがわかりにくいため、次回、より具体的に現状を説明し、再度協議することとした。

<継続審議>

(10) ウインターカップの放送権について (吉田(長)理事)

ウインターカップの放送権について新規の契約を締結することが提案され、承認された。

<承認>

---

#### 4. 報告事項

(1) 一般報告 (堀井理事)

2013年4月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) **総務部**（堀井理事）

3月16日に基本規程が正式に承認されたことに伴い、加盟団体、連盟、認定団体の申請および認定の手続きを実施すること、昨年度登録者の内の一部(プレゼントキャンペーン応募者)に対し行ったメールマガジンについて、6月以降登録者全員に範囲を拡げて実施すること、都道府県協会等に対する理事会報告については、会議の概要として報告すべきものと決定事項等通知すべきものを明確にして情報展開を行っていくことが報告された。

(3) **事業戦略部**（吉田(長)理事）

今年度のバスケットフェスティバルについて、6月1日の徳島県開催を皮切りに実施していく予定であることが報告された。

(4) **3x3推進室**（吉田(長)理事）

5月11日、12日に予定していた3x3トーナメントの東京大会について、11日は雨天中止となったが、スケジュールを変更し12日に開催したことが報告された。

(5) **競技会委員会**（庄司理事）

「第41回日本車椅子選手権大会」の結果が報告された。

(6) **男子ナショナル委員会**（佐古理事）

5月16日から開催される東アジア選手権大会に向けてチームは既に韓国入りしており、まずはFIBA ASI A選手権大会への出場権獲得を目指して臨んでいることが報告された。

(7) **女子ナショナル委員会**（高橋理事）

女子日本代表の強化活動について、5月1日より強化合宿を開始したこと、また選手を12名に絞り、5月13日から1ヶ月間アメリカおよびヨーロッパ遠征を行っていることが報告された。

また、U-19女子日本代表も7月の世界選手権に向けて、5月8日～10日に第1次強化合宿を実施したことが報告された。

(8) **テクニカル委員会**（佐々木理事）

エンデバーグループにおける各事業の検討内容やU-12ブロックエンデバーの開催予定が報告された。また、コーチコミッティーグループでは新しく指導者向けの電子ジャーナルの発行を検討していることが報告された。

さらに、ジュニアエリートアカデミーの実施に向けて会議を開催し、実施方法等の検討を進めていることが報告された。

(9) **審判審査委員会**（田窪理事）

4月27日から29日に第1次A級指名強化合宿(A級フレッシュマン研修)を行ったこと、課題としては若い人材の発掘・育成が挙げられていることが報告された。

**(10) 国体委員会**（野村理事）

国体改革の進捗状況として、1点目として愛媛国体からの導入に向けて調整を行っているチーム数の変更について、開催地との交渉が進展しないことから日体協との協議の結果、今後は日体協が愛媛県との調整を行うことになったこと、2点目として少年種別のU-16化における年齢基準については国際基準を適用することに決定したことが報告された。

また、和歌山国体における競技日程の変更(前倒し)に係る和歌山県からの打診については、変更は避けられない状況ではあるが具体的な変更日程の折り合いがまだついていないことから次回の理事会に提案する予定であることが報告された。

**(11) 普及・登録推進委員会**（坂本理事）

平成24年度のチーム加盟数とコーチ登録者、審判登録者の都道府県別の割合、また、中学の登録チーム数と中体連の加盟校数の都道府県別の比較が資料に基づき報告され、都道府県によっては極端に登録割合が低いところも見受けられ、こういった数字も参考にしながら今後の活動を進めていく予定であることが報告された。

**(12) その他**（堀井理事）

4月25日に日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟の5団体が開催した「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」において採択された「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について、当協会としても日体協、JOCの加盟団体としてこの宣言を遵守していくことが確認された。

また、JBAのコーチライセンス取得者を対象とした暴力行為等についての実態調査について、現状約70%弱の回答が届いており、6月中に最終報告をまとめる予定であることが報告された。

**(13) その他**（西井特任委員）

4月5日から7日に韓国で行われた「2013 ASIA W—Championship」について、当初東アジアバスケットボール連盟(EABA)主催での開催ということで報告していたが、EABAの公認が間に合わなかったこと、また、来年5月に予定されている日本開催に向けてはEABA公認で行うために検討中であることが報告された。

以上